

# 日本テコンドー協会

2013年度 JTA模範道場 第1号

長崎佐世保&長崎佐々テコンドー倶楽部

主宰 廣川禎教



2013年11月30日、日本テコンドー協会（JTA）は、第30回総会において、廣川禎教の主宰する長崎佐世保テコンドー倶楽部&長崎佐々テコンドー倶楽部を2013年度最も優れた模範道場と認定し、表彰しました。

河 明生 JTA 会長による選考理由は次のとおりです。

「JTAにとって国家の憲法に相当するのが七大精神です。

七大精神の実践こそが、武道家の社会的地位を高める唯一の道標であると信じて疑いません。

廣川は最もその実践を果たしたJTAが誇る優れた門人です。

第1条 我々は克己の精神を涵養すること、および 第2条 我々は文武両道を志すこと。

廣川は定職の激務をこなしながら、現役選手として全日本大会にも出場し、

しかも二つの道場の運営を通じて健全なる青少年の育成に貢献しました。

野原颯太等の教え子の活躍により佐世保市からも表彰され、その活動を評価されています。

HPや長崎新聞等、発信力も高く、地道な広報活動で会員のモチベーションを高めています。

第3条 我々は礼儀と信義を重んじること。

他の武道は、社会性の低い輩が少なくなく、武道家の社会的地位を貶めています。  
井の中の蛙のような自己肥大、政治家等の上位の者にはへつらい、逆に下位の者への尊大な態度、口から出るのは他人の悪口だけ等々恥ずかしい限りです。  
そういう言動が慢性化し混乱が収まらないのが空手界で、大小推定600流派が乱立しておりますが、内容の違いはまったくなく、違うのは道義の流派名や道場名だけという有様です。  
テコンドー界はそのようにしてはいけません。迷惑するのは一生懸命純粋にテコンドーを学ぼうとしている門人・会員だからです。  
上も下も、礼儀と信義を重んじれば、そういうことにはならないと私は考えています。

その点、廣川は誰に対しても礼儀正しく信義を重んじようと努力する姿勢から会員に慕われています。  
他のJTAクラブ長からの人望も厚い。廣川に対する批判を聞いたことがありません。  
その結果、JTA長崎会員、とりわけ少年少女部の大会等、JTAイベントへの参加は積極的で、JTA九州の各種大会で長崎勢が参加しない大会は過去、一度もありません。  
これは廣川が保護者から絶大なる信頼を受けている結果と言えます。  
当然、道場内のトラブルもただの一度もありません。

第4条 我々は家族に感謝し孝を心がけること。

廣川の妻・望もJTA有段者です。夫婦仲も良く、子も授かり、まさにJTA家族愛の実践者です。  
ご両親への孝にも余念がありません。

そのお陰で、私は1年に一度、廣川のご両親との会食を楽しむことができます

第5条 我々は社会に感謝し公益を心がけること、および

第6条 我々は神仏を尊び奉仕の精神を忘れざること。

JTA長崎は、上記二つの精神を実践せんとする廣川の呼びかけで

東日本大震災チャリティーTシャツにもとづく福島県奨学基金への寄付に最も貢献しています。

1枚の協力もないクラブがある中、JTA長崎は3年連続で上位の貢献度を誇っています。

以上、JTA七大精神第1条から第6条を実践している廣川禎教の主宰する道場こそが

JTAの他のクラブが範とすべき模範道場であると考えます。

そのことがJTA七大精神第7条我々は日本跆拳道の道を全うすることにつながるのです」